

三村 靖行 議員

市街地の空洞化 どうするのか

人口減少対策について

三村 近年、市街地の景観計画などにより空洞化が多く見られる。人口減少対策として建築費用の一部を補助してでも流出を止めるべきではないか。

市長 いくらかの支援措置は用意している。立地適正化計画のまちなか居住エリアも定め、居住エリアの密度を高めつつ、民間と情報を共有しながら進めていく。

三村 県南への流出対策として、土地単価が県南と同額以下となるよう補助すべきでは。

市民生活部長 総社市と比較して駅周辺や少し離れた分譲地単価は概ね同程度と認識している。若い世代の住宅助成制度の拡充を図り、マイホーム取得を支援していきたい。

平成30年7月豪雨災害 復旧工事について

三村 土木被害調査が2千件を超えたが、全ての市民からの要望に応えられたのか。

土木部長 被害状況、規模を確認し、土地の所有者等と協議のうえ申請しているが、申請時期に間に合わなかったものもあった。

三村 農地災害復旧工事を採択する時には十分に説明がなされているのか。

産業経済部長 説明が不十分な事案があったようなので今後は統一的な見解を示し、丁寧な説明に努めていきたい。

三村 災害は不幸であるが、大きな補助が受けられることを前向きに捉えて1件でも多く採択してもらえるようお願いしたい。

小林 重樹 議員

「健幸都市たかはし」の 未来予想図は

都市計画道路などの 整備予定について

小林 市が計画して住民説明を行った都市計画道路などの今後の整備予定と年次計画はこうなっているのか。

政策監 都市計画道路下町薬師院線等は市街地の形成機能や防災・減災機能の向上を目的として整備を行う。

土木部長 市道中原町新町線は歩道設置と対面通行ができる2車線道路を計画している。市道南町旭町線は現在、高梁中央病院前からJA付近を結ぶ計画を検討している。計画がまとまり次第、地元への説明を行いたいと思っている。

小林 1の3の路線は非常に有用な価値の高い路線だと認識している。用地買収を含めて住民に寄り添って交渉を進めてほしい。

主な道路の計画

計画年度	下町薬師院線	中原町新町線	南町旭町線
令和4年度	国の事業認可	用地交渉	測量設計 物件調査
令和5年度	路線測量等	工事着手予定	用地交渉
令和6年度	用地測量 補償物件算定	工事完成予定	工事着手予定
令和7年度	用地交渉		
令和8年度			工事完成予定
令和9年度	工事着手予定 (概ね5年で完成)		

森 和之 議員

小動物を介して命を慈しむ教育を

観光振興について

森 弥高山にもライブカメラの設置はできないか。

産業経済部長 ライブカメラの設置された備中松山城の来場者数の動向も参考にしながら総合的な視点をもって今後検討していく。

森 弥高山は井原市美星町、矢掛町からも交通のアクセスが良い、観光連携すれば、観光集客につながるのでは。

産業経済部長 自然の織り成す魅力的な景観という共通点を生かして、お互いの観光客増加につなげるよう連携について協議検討していきたい。

森 高梁市の観光は若年層に弱い気がする。BBQのできるキャンプ場の整備やアウトドアアクティビティの整備が必要ではないか。

市長「高梁市にもBBQのできる キャンプ場はある。利用者のニーズは高まってくると思うので、これから検討していく。」

森 シップラインなどのアウトドアアクティビティは考えられないか。

市長 以前取り組んだ経緯はあるが実現には至らなかった。アウトドアによる誘客には適切にスピード感をもって対応していく。

ペットへのマイクロチップ 装着義務化について

森 令和4年6月から販売されるペットにはマイクロチップの装着が義務化され、一般の飼い主には努力義務となるが、それに伴う助成は考えているのか。

市民生活部長 ペットの飼養、管理にかかる経費は飼い主で負担すべきと考えている。

伊藤 泰樹 議員

職員の意識改革を

高梁国際ホテルの今に至る 経緯と今後について

伊藤 市が所有するホテルに大規模な改修が必要なのではないか。

副市長 大規模な改修が必要なのは認識している。ただ、その大前提として経営計画書が条件である。経営者は強いメッセージを市民を含めた関係者に届けて頂きたい。でなければ必要とされる改修には至らない。

シティプロモーションについて
伊藤 前向きに取り組んでくれている地元小・中・高校生を活かさない手はないのでは。

市長 地域の魅力発信のために若い力を是非貸して頂いて一緒に取り組むことが必要であり、市のシティプロモーションに参画して頂く段取りは今進めている。

幼・保・こども園、小・中学校の 制服の現状と課題認識について

伊藤 制服が、学校や男女でこれだけ保護者負担に開きがあるというのは、改善すべきではないか。

教育次長 経済的負担に関する苦情は受けていない。
伊藤 問題でないと言う認識が問題だ。児童・生徒が減少し、今後も統廃合が懸念されるなか、トランスジェンダーへの配慮も含め、取れて市が統一の制服を作る発声をすべきではないか。

教育次長 選定や見直しが適切に行われるように必要に応じて指導は行う。近隣市町村において市が主導した例は無い。

伊藤 前例に捉われず、将来発生しそうな問題には、教育委員会が先頭となり取り組んで頂きたい。